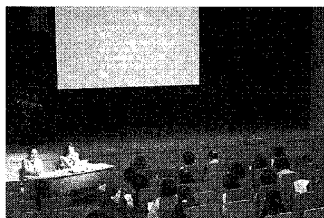


分科会③ 女性と健康 メンタルヘルスから 乳がんまで

みなみホールで開かれたこの分科会には、男性二人を呼び、七人が参加しました。

講師を務めた診療内科医の武井美智子先生は、集中力の低下や不安いらいら、それに睡眠障害など、ストレスによって体や生活パターンに影響が出るものを「うつ」と呼び、まずは早



健康について学んだ分科会③



真剣な表情で体験中の分科会⑤

ほしと訴えました。お二人に共通していたのは、「まず自分自身の管理ができていないと良い仕事はできない」ということ。うつも乳がんも増え続ける社会

分科会⑤ 大島紬体験 着心地のよさも魅力的

鹿児島県の伝統的工芸品「大島紬」。地元文化体験を！と企画された第五分科会には「本場大島紬物協同組合」を会場に、〇人が参加。大島紬

分科会⑥ ね？ん？き？ん？年金 中高年に希望を！

鹿児島大学法科大学院教授の伊藤周平先生を講師に迎えて、年金制度の沿革・現状や女性の年金問題について話を伺いました。

分科会⑧ 均等法から20年 ～働く女性の過去・現在・未来～

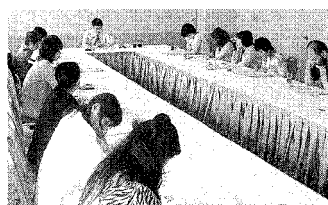
講師に、徳水労務管理事務所の社会保険労務士・徳水明日香さんをお迎えして、均等法から20年のあゆみと現状を、関連する法律や条約、統計資料、代表的な判例、男女平等が進んでいる諸外国における性差別禁止法の例などを交えながら解説していただきました。

分科会④ メディアの中で 育つ子どもたち ～私たちができること～

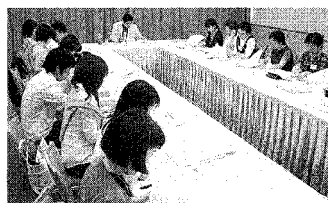
ここ数年子どもの環境が「T」の発達とともに激変してきました。メディア（テレビ、ゲーム、PCなど）との接触時間が長時間化して子どもの「遊ぶ時間」を減らしています。



テレビと良い関係をどう作っていくのか



年金問題を学んだ分科会⑥



放送の未来を学んだ分科会⑦

マスメディアの集中排除原則違反、NHKの受信料制度への疑問、番組介入の常態化などの問題を通して放送の公共性とは何か、ま、有事の際の指定公共機関化が持つ様々な危険性を学びました。

分科会⑦ 放送業界に 未来はあるか？ ～検証！放送問題～

講師にメディア総合研究所事務局長の岩崎昭明さんを迎えて、フジテレビV4やイブドアで注目された放送局の株保有問題、NHKの「一連の不祥事、有事の際の指定公共機関」問題などについて考えました。



現行均等法の問題点も指摘